

私の名前は山田れあ
ごく平凡な女の子

私には憧れの人がいる。
学校の先輩の、蘭堂まりやさん。



すごく美人で有名で、
ちよつとミステリアス。

同性なのに、蘭堂先輩を遠くから見てるだけでも
幸せな気分になれちゃうくらい……。本当に憧れ。

少しでも蘭堂先輩に近づきたくて、
先輩がアルバイトしてるお店に私も応募してみた。
おしやれなお店だから私は受からないかとも思ってたのに、
あっさり採用されて……。



今日はアルバイト初日。

『よろしくね。れあさん』

蘭堂先輩が私の名前を呼んでくれて、
本当に嬉しかった。

れあさん、
って先輩の声で言ってもらえるなんて。

嬉しくて、
でもすごく緊張して舞い上がって……。
蘭堂先輩がそばにいてと思うだけで
空回りしちゃって……。

アルバイト初日は失敗の連続だった。

蘭堂先輩にはがっかり
されたかもしれない。
でもすごく優しく、
私の失敗を何度もフオロー
してくれた。

だから一言だけでもお礼を
言おうと思った。
バイトが終わって、
今は更衣室で待ってる。

ガチャ

来た……！

蘭堂先輩と二人きり。

私は立ち上がって
今日のお礼をしようと
思ったんだけど……。

座ったままでいいよ。
ふふ……すぐ緊張してるんだ。
そんな調子だから
今日もたくさんミスしちゃったんだよね。

おれ？ お詫び？
そんなの必要ないよ。
あなたにはお仕置が必要。
ひとめ見てわかったの。
……あなたには体で
覚えてもらわなきゃダメ。

私がお仕置きして、
あなたの体に覚え
込ませる。
それが一番効くの。
それ以外の方法は
効かない。

私がしつかり
教えてあげる……。
そのままおとなしく
してて。

手、縛るね。
お仕置きだから。

こうやって動けなくして。
あなたは私の思うまま……。

お人形さんみたいになつて。
なんでも私の言うことを聞く
お人形さん。
あなたってすごく可愛い。
本当に可愛いよ。

私のお人形さんになつて
くれたらもつと可愛くなる。
そう……私だけのお人形。

動かないで。
まず耳からお仕置き
してあげる。

私の言うことを
ちゃんと聞けない
から何度も同じ
ミスをしたんでしょ？

しつかり私の声が
聞こえるように
耳を作り変えなきゃ。

触るだけで
ぴくつてしたね。
もしがして耳、
感じやすいの？

こうやって
指でさわるだけで
……くすぐったくて
たまらない？

ふうー……

ふふ……可愛い反応。
直接触ってなくても
感じちゃうんだ？

顔をそむけないで。
くすぐったくても
我慢して……。



ふうー……

まだ緊張して、
固くなってるから
余計にくすぐつたい
んじゃない？

これじゃお仕置きも
上手に受けられないよ。

顔の力を抜いて。
情けなくだらーん
として……。

目とまぶた、
それから頬
……回元。
全部力を抜いて、
私の吐息を
しっかり受け止めるの。
力を抜いて……。

ふうー……

くす……いいわね。
だらしない顔になってる。
もう一回

……今度は反対側から。

ふうー……

そうそう。

それでいいの。
やっとお仕置きを
受ける準備ができたね。

良い子、良い子……。
そのまま……。

だらしなくして、
何もかも忘れて
私のお仕置きを
受け容れなさい。

あなたの耳、
もつといじめてあげる。

れろ……。れる
……。ぺろ……。

こうやって丁寧に
舐めて……。れる……、
れるれろ……。

耳に私の感触を
しっかり覚え込ませるの。

そうしたら……
ぺろ、れる……。
私の声を聞くだけで
……。れる……。
ちゅ……。

お仕置きされたこと、
思い出せるように
なるでしょう？

ちゅ……。れる、
ぺろ、れる……。
そうしたら、
ミスもなくなるわよ
……。ふふふ。

ぬち♡



こうやって……
ちゅ、じゅぶ、れろ……
耳の奥までしっかり。
声がよく届くように……
ちゅ、れろ、じゅぶ……
じゅる、れろえろ
れろれろ……
れろえ、ろれろ
れろ……

びんびん

びんびん

びんびん

あなたは私の
お人形さん。

これから何でも
言うことを聞く。
逆らえなくなる……。

こうやって、耳を舐めながら……。
ちゅ、くぷ……じゅぷ。
おっぱいもいじめてあげるね。

耳舐めされながら……、
ちゅ、ちゅううう、
ほら、乳首も……。

あは……♪
しっかり乳首固く
しちやつてるね。

耳を舐めてるときは、
乳首もくりくり
優しく……。

耳を吸うときは
……はむ、じゅる、
乳首もきゅうって、
少しだけ痛くしてあげる。

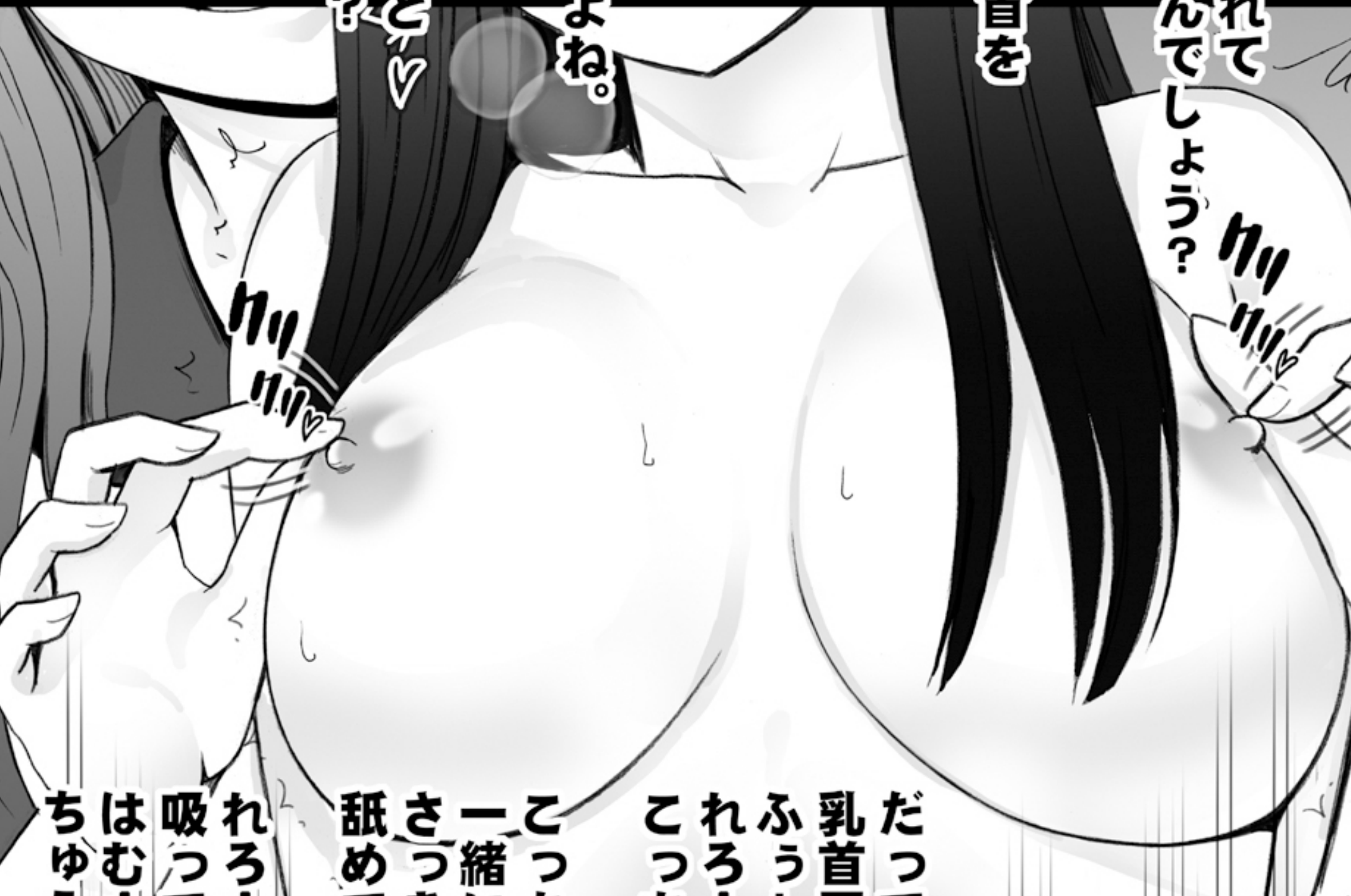
ふふ……♪
びくってしたね。同時にされると気持ちいいよね。



あなたって私に憧れて
このバイト始めたんでしょ？
どう？
憧れの先輩に耳を
舐められながら乳首を
いじられて……。

こんなことする
先輩だったなんて
幻滅した？

でも……感じてるよね。
お仕置きされて、
体は喜んです。
本当はこういうこと……
期待しちゃってた？



だってこんなに
乳首固くして……。
ふう！
れろ……ちゅ……。
こっちの耳もすごく敏感。

こっちの耳も、乳首と
一緒にいじめてあげる。
さつきみたい……。
舐めで……。

れろ……れるっ、ちゅ……。
吸って……。
はむ……ちゅ、じゅる、
ちゅっ……。

どんどん気持ちよくなってるよね。

れろ……ぺろ、れろ……。

やつぱり期待してる。

無理やりされるのも好きなんですよ？

ちゅ……じゅぶ、

ちゅる……れろ

……れろれろ……。

お人形さん

みたいな

扱われたいんだよね。

いいよ。

あなたの願望を

私がかねえてあげる。

はむ……れろ、

じゅるる……ちゅ、

ちゅうう……れろ。

何も考えずに、

ご主人様の言いなり

になって……。

じゅぶ、ちゅ……

はあ……、れろ、

ちゅぶ……。

気持ちよくなりたい。

……そうだよな？

ふふ……♪



望み通り、気持ちよくしてあげる。
耳とおっぱいだけじゃそろそろ
物足りなくなってきたところでしょう？

大丈夫……

ちゃんとココロも
いじめてあげるから。

……濡れてるね。

ほら……

指をちよつと
動かしただけで
音が鳴るよ。

あなたにも
聞こえてるでしょ？

ふふ……♪

ここも感じやすいんだね。
指を下から上になぞりあげて
……あはは、またピクっでした。

そんなに気持ちいいんだ。
軽くイかせてあげるね。

ゆっくり優しく……

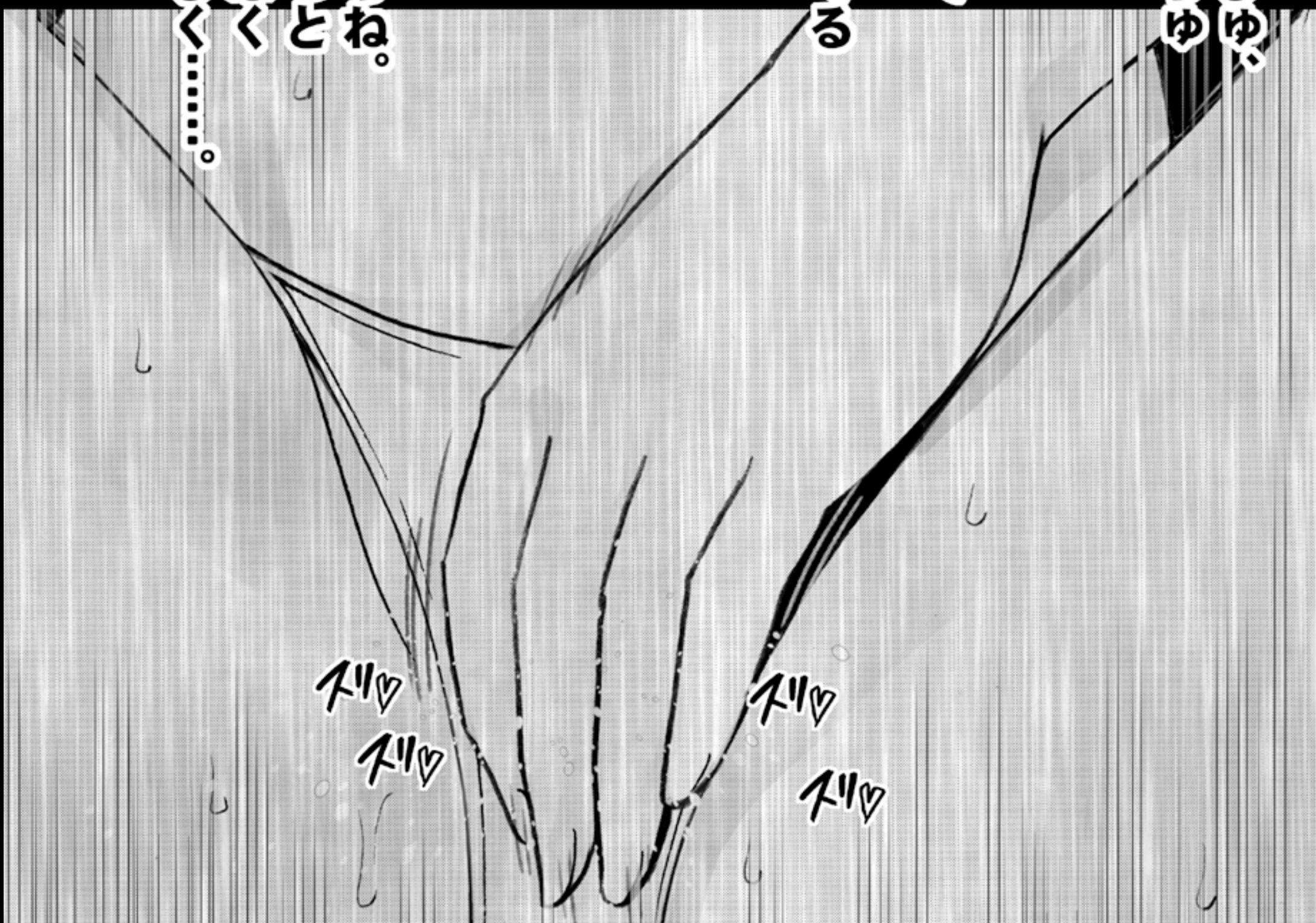
形がわかるくらいになぞって。
自分が濡らしちゃってること、
私の指が欲しくなること……
体に覚え込ませてもらえ。

ほら……しゅっしゅ、
くちゅくちゅくちゅ
っで……。

可愛い音。
声も我慢しなくて
いいんだよ。
気持ちよくなってる
って認めて。

丁寧に……
時間をかけて、
指を下から上に。
上から……下に。

強くはしないからね。
後からもっともっと
欲しくてたまらなく
なるように、優しく……。



焦らされながら
甘くイクのを
覚えてほしいの。

ゆっくり、
優しく。
深呼吸して、
お腹の奥を意識
して。

気持ちいい……
でも物足りない。
物足りないけど、
甘くてゆるい快樂。

深呼吸しながら
味わって。
あとで自分で同じ
ようにしてみても
いいんだよ？
下から上に
……上から下に。

このまま少しずつ手を離していくからね。
物足りなくて当たり前。だってこれはお仕置きなんだから。

手の力を抜いて少しずつ離しながら……、下から上に。
もう指を当ててるんじゃない。あたってるだけ。

びくっ

びくっ

ズリ♡
ズリ♡

ズリ♡
ズリ♡

上から下に……ふふふ♪
どんどん物足りなくなってくるね。
でもそれでいいんだよ。
いっぱい切なくなろうね。

次はフェザータッチ。
本当に少しあたっただけで、下から上に。
最後は……触れるか触れないかくらい。
でも少しだけ早く。
名残惜しい感覚が強くなるように、何度も動かして……。

……はい、今日のお仕置きは終わり。

私にされたこと、ちゃんと覚えておきなさい……。



蘭堂先輩にされたことは誰にも言えなかった……。言えるわけない。

ずっと憧れだったのに。

あんなことをする人だったなんて……。

明日もバイトがある。

どうしよう。

どうしたらいいかわからない。

どうして……

こんなに体が火照ってしまってるのかも、わからない……。

どうしたらいいのか……結論も出ないまま
バイトに来て……

また……先輩に

終わった後で残ってるように指示されて……

ふふふ……。
何戸惑った顔
しちやつてるの？
本当は分かっ
たんでしょ？
本当は今日も
……期待、
してたんでしょ？
今日もたっぷり
いじめてあげる。
私の言うことを
なんでも聞いて
しまいたくなる
ように、耳からが
いいかな。

ん……ちゅ。
ぺろ、れろ……。
じゅる、ちゅ……。

あなたの耳、おいしい……。
全身でびくびくして、すぐ
良い反応だよ。
やっぱりあなたには才能がある。
ふふ……。マゾの才能。

ちゅ……。れろ、れえろ……。
はむ……。ちゅうう、れろ……。

こんなに汗かいて……。
期待しすぎじゃない？
あはは……。



こっち側もしであげるからね。

れろ…ちゅうち。

真っ赤になつて…可愛い。
もっといじめたくなる…。

耳の奥まで。

ぐぶ、じゆる…じゆぞ、じゆる…。

たっぷり濡らしたら、

あなたのあそこも濡れるかな？

そう、もっとな私を受け容れて。

今日も触つてほしいんでしよう？

耳を舐められながら…こうやって
指で。

スリ♡
スリ♡

スリ♡
スリ♡

…んふふ♪

ほら、もう指が…

あなたの敏感な場所に。

ちゅ…れろちゅうち…っ。

ここ、さわつてほしい♡

どうする…♡

どうされたい…♡

ふふふ…♡

ん……あれ？

バイトB

「……誰かいるの？」

ふふ……♪
やばいね……。
誰かきちゃったね。
どうする？

私たちがこんなこと
してるところ見られ
ちゃうよ。
……どうする？
恥ずかしい……？

バイトB

「入っていい？
入るわよ？」

ああ……
もう終わりだね。
見られちゃうー！

バイトB

「……ちよっと、
あんたたち何
やってるの？」

あは……♪
見られちゃったあ♪
ふふふ、どうしたの、そんなに震えて。
もしかして……軽くイッてる？
見られてどうしようもなくなっ
てすぐ感じちゃった？
見せつけてあげようね。
あなたが私のお人形さんになっ
てるところ……♪

バイトB「あーあ、また先輩に先ごされち
ゃったかあ……♪」

くす……♪
もう察してくれたかな。
私が呼んだの。
一緒に遊ばない？ って……♪

バイトB「先輩だけずるい。その子、
私も目付けてたんだよね……♪」

あなたは哀れなお人形さん。
私のお人形で、私たちの
お人形……♪

見つかつちやつたからねえ、
しようがないよねえ……♪
ふふふ……何びつくりした顔してるの？
戸惑ってるなんて、演技でしょ？
本当は期待してたくせに……
こんな風に、私たち二人から
攻められてみたいって……♪

ほら、私はこっちから……

反対側も同時に……ちゅ、
してもらいたかったよね……

可愛い耳してる……
すぐくおいしそう……♪

んふふ……♪

どう？

おかしくなっちゃいそうでしょ？

私もたっぷり可愛がつて
あげるからね……



左右同時に耳を舐めながら……
おっぱいも気持ちよくしてあげる。

ちゅ……ふふふ……♪
そんなにヒクつかせて
……同時にされるの、きもちいい……？

じゃあこれからもっと楽しみだね……
はむ、ちゅ……
実は、まだ他にも人を呼んでるの。
新人さんでお人形ごっこしない？
……ふふふ♪

もっ
もみ

みんなに耳を舐められて、
恥ずかしい喘ぎ声を全部聞かれて、
おっぱいも吸われたら……
どうなっちゃうかなあ……？
あはは……♪

クリ
クリ

れろ、れる……。
ちゅ、んぷ、
んるんるんる……。
じゅぷ、ちゅ……。

れろ……ちゅ、
れろれろ……。
ほら……。
足音。
近づいてきた……。



はむ……ちゅ、
じゅる、ちゅ……。
もうすぐ来るね……。

れろ、れるれろれろ
みんなにたっぷり
可愛がってもらえるよ……。

バイトC「わー やってるやっってる」

バイトD「また新人がお姉さまの餌食になっちゃったか〜」

よかったね、みんなに
可愛がってもらえて。
んぷ…じゅる、れる…っ。
耳もおっぱいも全部舐められて
もう我慢できないでしょ？
イキたくてイキたくて
たまらなくなってる……♪



じゃあ……最後に、
キスしようか。
服従のキス。

私の奴隷になれば
最後まで気持ち
よくしてあげる……。
ちゃんとキスして
契約しないとね。

「私は先輩に何も
かも捧げます」
っで……あはは♪



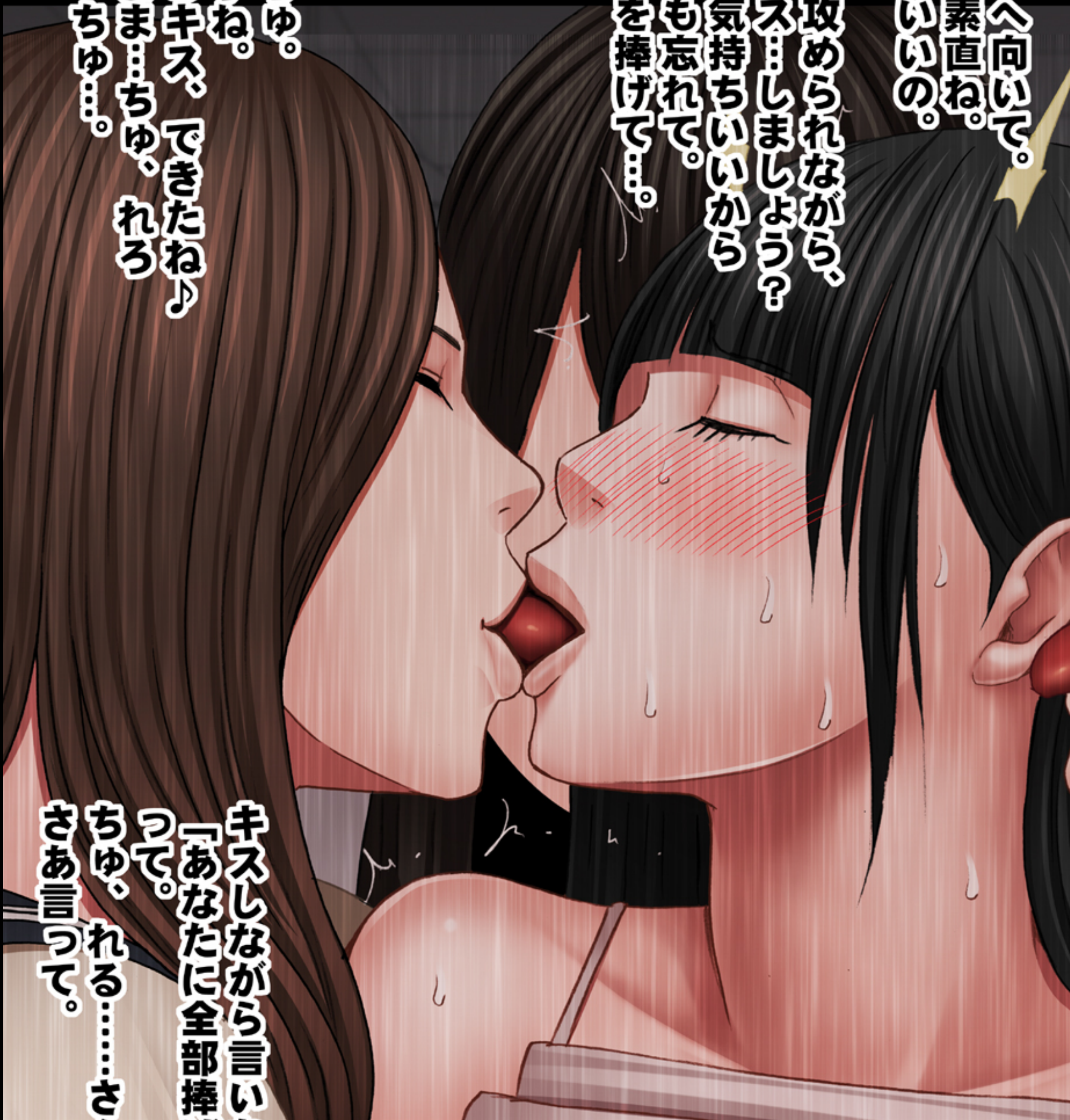
嫌がつてるフリ
なんでも無駄……。
もうあなたは逆らえない。

こっちへ向いて。
そう。素直ね。
それでいいの。

全身を攻められながら、
私とキス！しましよう？
すごく気持ちいいから
何もかも忘れて。
私に唇を捧げて！。

ん、ちゅ。
いい子ね。
服従のキス、できたね♪
そのまま…ちゅ、れろ
れる、ちゅ…。

キスしながら言いなさい。
「あなたに全部捧げます」
っで。
ちゅ、れる…さん、はい。
さあ言っで。



はむ、んむ
ちゅーんふふふ♪
よくできました♪

これであなたは
完全に私のもの。

んぷ、ちゅーん
ちゅーん、れろーん
ん！
んう、えうー。

私の唾液をしっかりと受け止めて、
味わって飲んで。
体の奥まで服従の証を刻み込みなさい。
ほら、飲んで。飲みなさい。
いい子、いい子。さあごつくんで。

もみもみ

もみもみ

あはは♪
ちやんとできたね。
ご褒美に、イかせてあげる。

もう私が直接あなたに
シてあげる必要なんてない。

私は見てるだけ。
私が見てる目の前で、皆に
耳とおっぱいとアソコを
たっぷり舐められて、
イキなさい。



あははは……♪
無様ね……可哀想……♪
必死に抵抗してるけど、
イカされちゃうんだ……♪
だってこんなに全身びくびく
させて、もう限界でしょ？

気持ちいいね……♪
全身舐められるの、
気持ちいいね……♪
大好きな私が直接
触ってなくても、
見られてるだけで
イツちゃうね……♪

ふふ……♪
そうね……カウントダウンは
してあげる。あなたは私に
完全に服従してる。
だからカウントがゼロになった
ときに、私の命令通りイけるよね。

10……9……。

ほら、始まったよ。

ちゃんとイク準備して。

8……7……6……。

全身で感じて。

たっぷり耳を舐められる音も、あそこの気持ちいい感覚も…。

5……4……。

ほら、もう全身がびくびくして……耐えられなくなってきた。

3……2……。

下から上に、上から下に。速く速くもつと速く、耐えられなくなる……！

1……。

もうダメ、もう我慢できない……イキそう、イキそう、イキそう……！

0……。

気持ちよくてたまらない……！ ご主人様の命令通りにイキなさい……！
ゼロ……。

イク。イク。イクイクイクイク……
大きいのが来る、全身でイク……!!

内側からあふれてイク、イクイクイク……!!
気持ちいい気持ちいい、どうしようもなくイカされる……っ!!



……せろ。
イツた！イツてる。
まだイツてる！！
頭は真っ白で！！

全身が震えて気持ちいい……

少しずつ体の力が抜けていく……
もう何も考えられない。

でも、快楽を刻み込まれたことだけは覚えてる。
あなたは何かも捧げてしまった。
この快楽のために……

あの日、私はバイトを辞めた。

蘭堂先輩が怖くて……
快楽に流されてしまう自分が怖くて。
蘭堂先輩には会うことがないように
気をつけていたつもりだった。

でも……。



あら……
こんなところで
会うなんて。
ふふ、別に怒って
るわけじゃないから
安心して。
あなたが私を
避けてるのは
わかってるわ。
あんな目に
遭ったんだもの。
当然よね。
嫌なら嫌で
いいの。
別に追いかける
気はなかつたから。

ガン

ガン

ガン
ガン

けどね、こうして
目の前にいたら……
試したくなっちゃう
のよね。
私が与えた服従の証が
まだ有効なのかどうか。
ごめんね。

せつかく避けてたのに
あなたをめちゃうかやに
しちゃうかも。
壊しちゃうかも。

れろ、んうはむ、ちゅ…。
ふふふふ♪
やっぱり感じてるんだ…。
こうされるだけで、
スイツチが
入っちやう？
私に刻みつけられた、
服従のスイツチ。

れろ！れろ、んる、
れろれろれろれろ。
あははは♪
もうダメみたいね。
完全に思い出しちやつてる。

楽しくなつて
きちやつた♪
避けてたのに、
思い出させちやつて
ごめんね。
おわびにイかせて
あげる…。



んふ……。軽くイカせるから。
れろ…んぷ、れろ、れろれろれろれろ。
痴漢されて気持ちいいんだ？
そういう願望があるんだね。

知らない人に見られながら
ちゅ、れるれろ、イカされる…。
ううん、イカされたい、気持ちよくなりたい。
ちゅぷ…じゅ、れるれろ…。

おまんこもおっぱいも同時に
ちゅうう……じゅる！
ちよつと激しくするから。
好きなだけ気持ちよくなつて。
私に服従した、お人形さん♪

びくびく

びくびく

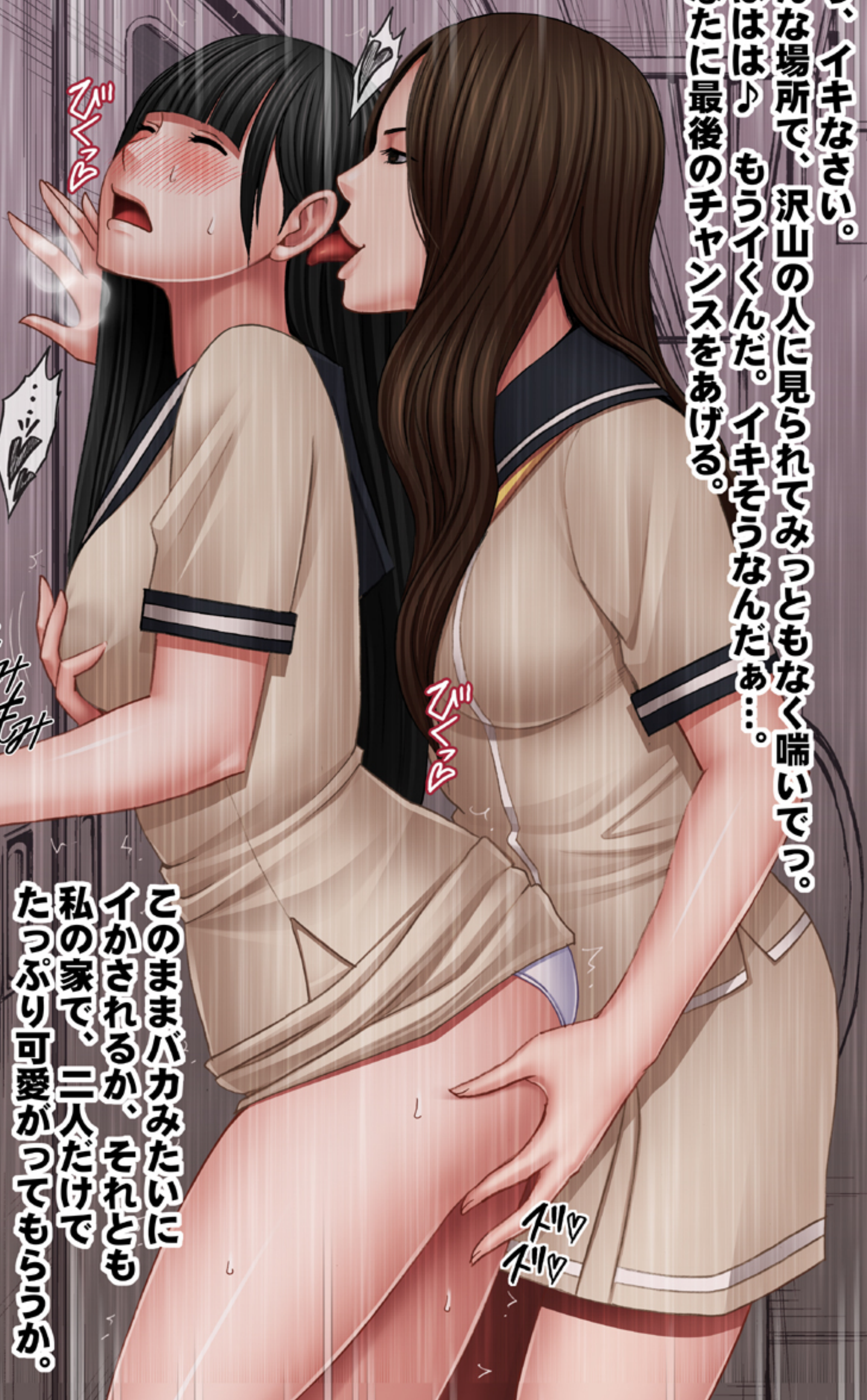
あなたの形、指が覚えてる。
れるっ、じゅるる、れろ、じゅぞ、
れるれるれる。
ここここ、同時がいいんでしょ？

乳首をきゅーっうって指で
挟まれながらおまんこにも
指を浅く入れて…。
れろ、れろ、れろ、れるれる
れるれる、んちゅ、んぷ…。

指のペースと合わせて、耳とおっぱいも同時に、
ちゅぷ、んぷ、れろ…れる…。
もう軽くいきそうでしょ？ イッていいんだよ。

ズリ♡
ズリ♡

ほら、イキなさい。
こんな場所で、沢山の人に見られてみっともなく喘いでっ。
あははは♪ もうイクんだ。イキそうなんだあ...。
あなたに最後のチャンスあげる。



びくっ

びくっ

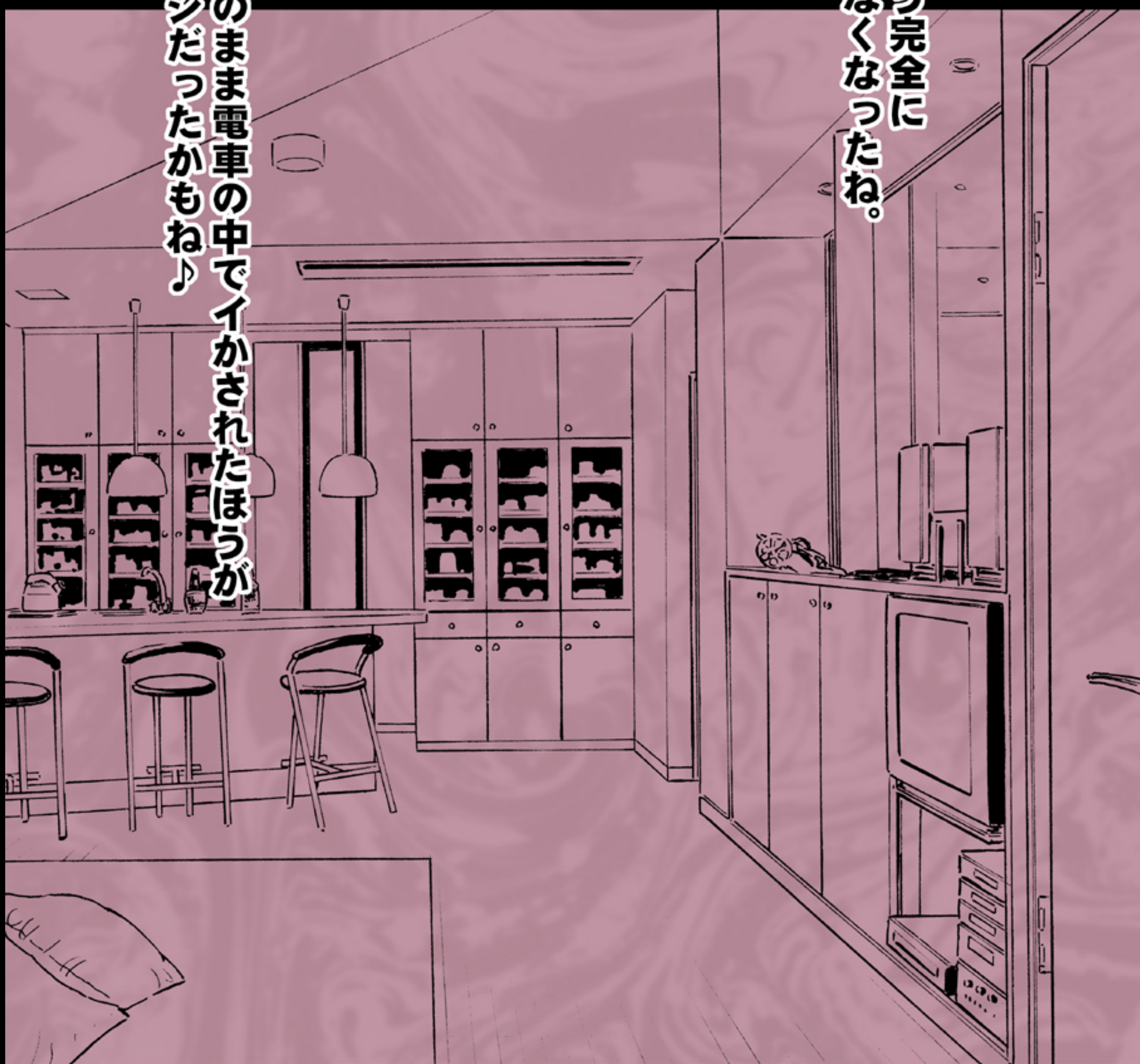
もっもっ

トリ♡
トリ♡

このままバカみたいにな
いかされるか、それとも
私の家で、二人だけで
たっぷり可愛がってもらうか。
どっちがいい？

はい、
これでもう完全に
逃げられなくなったね。

あのまま電車の中でイカされたほうが
マシだったかもね♪



でもあなたが選んだことだから仕方ないよね。
服従の約束を思い出させてあげる。

普通に気持ちよくさせても面白くないし、
あなたは私に逆らって避けてたんだから
…罰が必要よね。

これが何かわかる？
よくできましたあ……♪

そう、これは筆。
とても柔らかい素材で、
繊細にできてるこの筆で、
あなたに罰を与えてあげる。

キッ
キッ



ふふ♪ どう？
筆を耳に当てられるなんて、初めての経験だよね。
あまり気持ちよくはないよね。
でも大丈夫。今はくすぐったいだけでも、だんだん
気持ちよくなってもどかしくてたまらなくなるから……♪

ほら、こしょこしょこしょ
あははは♪
耳の感覚を意識しながら
下腹。アソコ。おまんこの
ことも思い出して。

くすぐったいね。
でもだんだんもどかしく
なってきたんじゃない？

ゆっくりさすって
柔らかく……。
ときどき深く、
奥まで入ってくる。
あなたの耳を犯して、
セックスしてるのと一緒。



乳首もいじって、
舐めながら……。
れる。耳も。
あはは、どうしたの、
そんなにジタバタして、
くすぐったくて
たまらない？
後もう少しだけ……。ちゅ、
れるっ。
お仕置きだからね。
二度と私を避けないで、
受け容れなさい……。じゅる
れるちゅうう。

ずっと私のことだけ
考えて、私に全部捧げて。
そう……。体の力も抜いて、
快楽を全身で感じて。

あなたは私のお人形さん
おもちやなんだから……。
ちゅ……。んぷ、れる。
れる。

うん：良い子ね。
自分の立場が
わかつたかな。
れろ、ちゅうう。
いい子には、
ご褒美を
あげるからね。

一緒に気持ち
よくなるつか！！
二人で一緒に。
二人だけで。
いい子で
いてくれるなら
ずっと可愛がつて
あげる。



他の人を呼んだり、
恥ずかしいところを
見せつけたり、
そんなことは
もうしないわ。

私だけのものにな
るつて約束して
くれるなら、
大切に可愛がつて
あげる。

あ、んっ。
思った通りね。
はう、はあ...
私とあなたの相性、
すっごくいいみたい。
あう、はっ、あ...
こうしてこすり
合わせてるだけで
すごく気持ちいいっ。

あなたの気持ち
いい場所はもう全部
わかってる。
あ、はあ、はあ、はあ。
あなたの奥まで入って、
全部手に入れたいっ。

大丈夫。怖がらないで。
ちゅ、んるれろ。
あなたの体の全部を
愛してあげるから...。



はむ、ちゅれろ...。
こうやつておっぱいを
吸われながら。
おまんこを合わせるのも、
きもちいい、でしょ？

知ってるよ。
あなたは同時にたくさん
刺激されるのが大好き。
れろれろれろ。
そうされると
全然逆らえない。

それに、だんだん
思い出しちゃうよね？
おっぱいとおまんこで...。
思い出しちゃうね。
んぷ、ちゅ...れろ。
私に服従したこと...。

はあ...はむ、ちゅ。
体に刻まれてるから、
ずっと忘れられない。
本当は体が疼いで
仕方なかったんでしょ？
ちゅ、れろれろ
れる...んふふ♪

あなたの快樂も
全部私のもの。
私の言うがまま。
たつぷり犯してあげるつ。



んっ！
ああ、はあ、ああ！
んう、私のが
あなたの中に
入ってるっ。
わかるでしょ？
はっ、ああ
あなたの初めても、
私のもの。
はあ、んう。

大丈夫…痛くない
ように、あなたが
大好きなおっぱいも
いじめてあげるからっ。

姉っ♡
姉っ♡

姉っ♡
姉っ♡

たっぷり濡れてる
からもう平気よね。
私とひとつになっで
るよ…もう気持ち
いいことしか考え
なくていいの。

乳首、すごく固く
なってる。
可愛い…♪

このままイクまで
吸ってたいくらい
だけど…
最後にキスで
思い出させて
あげるね。

甘いキスで思い出して。
あなたが私に
服従したこと。

こうしてると頭に
ぼんやりモヤがかか
つて、どうしようも
なくなっちゃうよね。
しつかり舌も絡めて
。そう。
上手。
れる、れるれる。。



もう十分思い出した
よね。
あなたは私のもの。
何もかも私に捧げた。
三度と逆らえない。
ずっと離れられない。
じゅぶ、れる。。

私にイカされて、
はしたなく喘ぐこと
以外、何も考えなく
ていいんだよ。

またカウントダウン
してあげる。
私の言いなりになっで
イキなさい。

10……。

目を閉じて。

私の言葉に集中して。

9……。

全身の力を抜いて。

でもアソコだけは意識して。

8……。

じーんっでお腹に

私の声が響くでしょ？

なーな……。

ほら。響いた。

響いた声が

どんどん熱くなっで……。

6……。

お腹から指先に頭に

じーんっで、熱くなる。

グキョー
グキョー
グキョー

グキョー

ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ

ごーお。
じーんじーんっで
響いてたまらない
どうしようもなく
なる。

腰だけは
動かしても
いいよ。
股を押し付けで、
いつぱい
私を感じて。



さーん
気持ちいい、気持ちいい。
イキそう、イキそう
イキそうイキそうイッちゃ
いそう、気持ちいいのが
お腹に集まってきた……！

にーい
はい、ここで少しだけ
力を抜いて……深呼吸して。
でも次の「にー」の瞬間に
ぎゅうつで、息を止めて！



いーち！
ほら、ぎゅうつ……でー！
ああ、きもちいい
きもちいい、もうダメ……
イクイクイクイクイク……！

ぜーろ！
イク、イッてる、全身でイク！
頭からっぽにして、気持ちいい気持ちいいっ！

ぜろ…ぜろ！
イクイクイクっ、イッてる、イッてる！
気持ちよくなつて、何も考えられないっ！

ゲモ

ぜーろ。
まだイッてる…
気持ちいいのがいっぱい
だね…嬉しいね。
イクの、幸せで幸せで
たまらない。

ぜろ、ぜろ…ぜろ。
幸せなまま
ジーンって私の声が
響いで、気持ちいいの
が続くよ…。

ぜろ。
ゆっくり力を抜いて。
すごく幸せな気分のまま、
イッた感覚をなるべく
長引かせていいんだよ。
見てであげるから…。

はあ、ふう…
深呼吸して。
もう一回。
はあ、ふう…

気持ちよかったね。
もうずっと…
忘れられないね。



ふふふふ……♪

今日のことは体に刻み込まれて
ずっと覚えてるよ。

お腹の奥がうずいたら、
また一緒に遊びましょう？

私はあなたのことが
大好きだから。

あなたが望むなら、
いつだって応えてあげる。

いっぱい気持ちよくして
幸せにしてあげる……♪